

みなさんお元気ですか。

UCA 大学に合気道道場を新設しました。ご覧ください。



2月6日

大学新入生のオリエンテーションで合気道体験教室を説明した。

U.C.A 大学（ニカラグアの私立大学）は、2月に新入生を迎えた。この新学期から合気道もスポーツ部門でのカリキュラムに入れてもらった。それで、合気道教室のプレゼンテーションをスペイン語でした。カンペ無しでスピーチしたかったが、覚えられなくて文章を読みながらやった。さて、1部、2部のオリエンテーションで合計400人くらいの生徒の前で、プレゼンをやったのだが、果たしてみんな分かってくれたのかどうか少し疑問が残る。実際の体験教室は、来週から始まる。週2回のクラスで、6月末まで続ける。この授業では、合気道の技だけでなく、日本の武士道文化も伝えたいと言った。



2月10日

UCA 大学でインタビューを受けた。

来週の火曜日からは合気道教室のプロモーションビデオを撮りたいということで、この日にUCA大学のマーケティング担当者サラさんに会った。そして、私のことについて、2、3質問されるインタビューや合気道の演武などの動画が撮られた。

私は、一瞬モデルにでもなったかのように恥ずかしくもあり、どのようなポーズをとったらいいのか、迷った。とりあえず、サラさんのイメージどおりに動いた。

UCA大学の柔道道場で10分くらいの演武をAnibalさんとやった。組太刀、太刀取り、体術などを披露した。サラさんは合気道のことは全く知らないの、最初に演武をして合気道とは何か、を簡単に見せた。その後で、サラさんの私への要望は、メディテーションをして欲しい、とのことだった。えええー？、なぜそうなるの？！



今回のインタビューでは、サラさんは、余り英語ができない。私はスペイン語ができないということで、通訳（シシリア）がついた。シシリアさんは、キャンパス内にある日本語学校（絆館）の日本語教師である。シシリアさんとは日常の日本語会話は問題がないが、合気道の事について私が日本語で答えて、それをシシリアさんが通訳になると、何かスムーズに行かなかった。結局、サラさんが英語で質問して、私が英語で答える形となってしまった。

さて、サラさんのイメージは、畳の部屋で私が瞑想しているシーンだった。私は、日ごろ座禅や瞑想などしていないが、言われるままに、深呼吸をしていた。サラさんには、日本や武道に対して、どのようなイメージがあるのか、詳しく聞いてみたかったが、彼女も余り英語がうまくないので、聞きづらかった。その他にも私は窓辺に立って、袴の腰板を両手で触って服装を整えているようなポーズを要求された。これは、何の意味があるのかなあと思いつつも、彼女の説明もよく分からないまま、言われるようにやった。インタビューだけで、半日が過ぎてしまった。チョッと疲れた。



さて、話は変わって、通訳者のシシリアさんと昼食を共にしたときの事。今年の10月から約2年間、つくば市で日本の障がい者教育を学ぶために大学院に行くことが決まった、と話してくれた。日本からの無償資金援助を受けることができた、とのこと。彼女は、以前にも日本に滞在したことがあり、今回は3回目とのこと。大変楽しみだとのことだった。日本の若者たちが疲弊していると言われていご時世で、外国人を相変わらず支援しているんだなあ、とチョッと日本政府の対応に疑問をもった。でも慣例とし変わらずやっていることだ、と勝ってに理解した。また、シシリアさんは長年日本語教師としてやってきている人だし、真面目だからいいかなあとも思った。また、日本から戻った後のニカラグアでの活躍を期待したい。合気道に対しても同じようにニカラグアの指導者や生徒にも私は期待しているが。。。？



2月14日

今日も U.C.A 大学で 2 回目の講演をした。今回は、新渡戸稲造の著書を引用して、武士道とは何かと、合気道の演武をしながら簡単な技について説明した。そして、明後日から始まる合気道教室の生徒を募集した。

武士道の話は、自分でスペイン語原稿を書いて、知人のニカラグア人に文章を訂正してもらった。そして、何回も繰り返し読みながら本番に臨んだ。でもやっぱり、うまくスペイン語の発音ができなくて、何度も詰まってしまった。相変わらず“R”の発音がうまくいかなかった。“R”の発音は、舌を歯の裏側にあてながら、ラララ、、みたいな二重音にしないとだめだ、と言われていたが、なかなかできなかった。

約 80、90 人の参加者がいたが、はたして武士道を理解してくれたかなあ。まあ、スペイン語の勉強になったと、しておこう。



後半は、実際に、聴講生の中から 10 人ほどをマットに上がらせて、合気道の簡単な技を体験してもらった。

最初は、簡単な準備運動。つぎに、前受け身と後ろ受け身。つぎに、攻撃側が防御側の腕を正しく掴むこと。ここでは、剣の手の内について説明した。そして、防御側は、その相手の手を無理なく外す方法を説明した。つぎは、集中力と非集中。攻撃側が防御側の手を掴んで攻撃しようと集中している瞬間、防御側がそれに抵抗しようとしてはいけない。攻撃側の反撃を避けるために、全く関係ない行動をとることを説明した。最後には、合気道の小手返しや二教など簡単な技を体験してもらった。講習が終了して、何人の人が明後日から始まるクラスに参加してくれるのだろうか、と尋ねたら、11名です。と答えてくれた。定員数を満たしたので、ホッとした。



2月16日

この日から、実際の合気道教室が始まった。先日の話では、11名が参加の署名をしたと聞いていたが、実際は、6名だった。6人は、想像に反して時間どおりにやってきた。30分前に来たのが、Xiomara (シオマラさん) だった。彼女は、英語も非常に上手なので、安心した。

参加している6人は、本当に目が生きいきしているようだった。これからどんなことをするのか、とわくわくしている感じが伝わってきた。

まず、名札カードを渡して、名前を書いてもらった。そして、道場で使っている主席カードも渡した。つぎに、準備体操をやった。ほとんどの生徒が、簡単に正座もできた。これにはチョッと驚いた。つぎに、腰を低くしてからの前後の受け身をやった。4, 5回稽古をしたら、3割くらいの生徒ができた。



つぎに後ろ受け身をやったが、少し難しかったようだ。つぎは、攻撃側（受け）が防御側（投げ）の手首を正しく掴む方法、私は剣の握り方（手の内）して、指導してした。そして、防御側が無理なく外す方法をやった。このやり方は、いつも自分で水の入ったジョッキを飲むように手を上に挙げていくようにと説明している。

つぎは、集中力と非集中力。攻撃側は、相手の手首を掴んで引っ張ろうとして、その接点に集中する。防御側も手首を離そうとして、その接点を動かして抵抗しようとする。そうするとその動きが攻撃側に伝わり、さらに強く握ってくる。そうならないように、防御側は、その接点とは遠く離れた点、例えば肩から相手に気づかれないに引く。この動きは攻撃側を一瞬錯乱状態にする。その数秒のうちに、違うアクションを起こす、方法を教えた。つぎに、技は身体の一部を使ってやるのではなく、身体全体を使ってやる方法を説明した。90分授業だが、70分ほど過ぎた時点でみんなが疲れてきたのか、段々を動きが鈍くなったので、やめた。初日は、まずまずだった。



2月18日

日本ニカラグア友好公園で、日本大使館主催の日本祭があった。そこで私たちの道場からは合気道演武を披露した。演目は、1, 2, 5の素振り。組太刀、3, 5. 剣の理合い3本、太刀取り3本、短刀取り3本、体術、一教、二教、四方投げ。そして、最後に素振り3をやって納めた。今週、UCA大学でもやった演武だったので、まあ今回は失敗なく行えたと思う。観客の反応はどうだったのだろうか。ステージの最前列で見てくださっていた大使がわざわざ私たちに挨拶にきてくださったので、まあうまくいったのかなあ、と言った感じだった。今週は、UCA大学での合気道教室開始、そしてこのフェスティバルに参加した。結構忙しい一週間だった。明日は、別の大学でのイベントにJICA ボランティアとして、参加する。

[\(1\) Facebook Live | Facebook](#)

演武の動画は、上記のサイトにニカ日本国大使館がアップされているので、参考にしてください。



2月23日

今日で、UCA 大学での合気道授業は3回目となった。1回目は、6名だったが、今日は9名、日ごとに生徒が変わる。普通に生徒の名前が覚わらないのに、人が変わっていくと本当に解らなくなる。ひとり一人に名札カードを渡して、定員は10名にしているのに、道場に現れる人は、もう10名を超えている。これからも生徒の数が増えてくるのかと思うと心配だ。さて、90分の稽古だが、だいたい70分を経過すると生徒たちは、集中力が切れるようだ。最初の準備体操、前後の受け身までは、楽しくやっている。そして、稽古相手を変えるように、言った途端に、テンションが下がっていく。さらに、相手を変えるように言うと、真面目にやる生徒とそうでない生徒が段々と分かっていく。自分とは合わない生徒がいるのだろうか。手を抜いてるな。



2月28日

UCA 大学での合気道授業は、今日で4回目となった。

いつものように準備体操をやって、前後の受け身をやった。受け身は今までにしたこない運動なのか、わいわいはしゃぎながら子供のようにやっている。まともにできる生徒は、三割くらいかなあ。つぎは、合気道の技で、呼吸投げをなった。文字どおり息を吐きながら投げるので、呼吸投げという名前がついている。しかし、実際は相手を投げる際の体の捌きや手刀の形が重要である。特に、手刀の形は、剣を握る形になるので、そこから教えなければならない。しかし、実際に剣を持たないので、生徒が持ってきている水筒を持たせて、その持ち方で説明した。水筒を両手で持って、水を飲むように自分の手前に持ってきて、両手でを掴んでいる相手のバランスを崩してから、相手を側面に投げる、というやり方でやった。だんだん理解してきているようだ。